

その他の建築工事業における建築物、構築物を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	9～10	土壁の解体中、壁を押して崩そうと両手に力を入れた際、首の左側に激痛がはしった。	24	—
1	13～14	リフォーム解体工事にて、平屋のはなれ別邸を解体作業中に、屋根を壊して片側1枚の壁を解体した際、室内にて掃除をしていたところ、急に残りの壁3枚が倒れてきて、はさまれ頭部等に重傷を負った。	47	1～9
1	15～16	コンクリートの壁を撤去中、塊（長さ1.5m、幅20cmくらい）が落下し、右手に当たった。	20	1～9
1	12～13	店舗塗装工事現場に於いて、木製格子と脚立に足を掛けて塗装作業中に、格子を留めているビスが取れて高さ1mから転落し負傷した。	35	—
2	11～12	現場前で作業の準備をしている際に、縁石に躓き転倒し、左脇腹を痛める。	64	—
2	17～18	現場にて、水道配管工事中に屋根のひさしより滑って転落した。その時、左足首辺りを骨折した。	59	1～9
3	15～16	トラック荷台から降りる際、足元の土止のコンクリートに気づかず左足を捻り転倒した。	40	1～9
3	16～17	解体工事の現場において、1階部分で片付け作業をしている時に、高さ約6メートル位の2階部分に立てかけていた養生パネルが落下し、被災者の左手親指が当たって負傷した。	27	1～9

3	13~14	現場の柱が倒れ、手で受けようとした際に手の甲と接触する。	27	1 ~ 9
3	13~14	ブロック塀外構の縁切り解体工事にて、重機を併用しての解体作業中、道路と面した所に高架線があり、重機が引っ掛かり、垂れ下がったのを解体中のブロック塀の上に乗る、垂れているのを戻そうとした際、乗っていたブロック塀がぐらつき転倒した。その時に倒れて残っていたブロック塀の角に頭を打ち付け、着用していたヘルメットがずれ、耳の上の頭部を打ち負傷した。	38	10 ~ 29
3	9~10	事業閉鎖に向けてヤード内の片付け作業中に、ヤード内外壁に取り付けていた電柱を撤去するため、電柱登りバンドを撤去していたところ、電柱が根元から折れ、電柱と一緒に2メートルくらいの高さから落下し、胸部を切る怪我をした。	53	1 ~ 9
4	14~ 15	プール内部の土間部分のタッチアップ作業をしている際に、高圧洗浄後で土間が濡れていて大変滑りやすくなっていたため足を滑らせて仰向けに転倒し、右肩を強打した。当日は痛みをこらえて仕事を続けたが、翌日になっても痛みが引かなかった。	30	1 ~ 9
4	17~ 18	歩道で側溝の蓋を撤去するとき、側溝に落ち、持っていた蓋が右手の上に落ちた。新しく建てる事務所の敷地の前の側溝の掃除中に発生したものである（工事での災害ではない）。	32	1 ~ 9
5	16~ 17	修繕工事現場の敷地内で、道路から駐車場に至る出入口横の袖壁に乗り、袖壁撤去工事に伴う雨養生の作業中にバランスを崩して高さ1790mmの袖壁から落下し、左足かかとを負傷した。	52	10 ~ 29
5	11~ 12	建物解体作業中にブロック塀に括り付けられていた竹の塀の番線をカッターで切る作業を行っていた際、竹の塀が覆い被さってきた。バランスを崩して転倒した際にコンクリートの基礎部分に脇腹を強打した。	58	1 ~ 9
5	11~ 12	事業所の倉庫を整理している時、約150cm位の高さの所から落下し転倒した。その際、体全体と、右足を強く打ちつけた。	44	1 ~ 9

6	10~ 11	戸建住宅屋根塗装作業時、バランスを崩し、軒先（約3mの高さ）より、地面に落下した。その際、隣家との境にある波トタン製フェンス（高さ約1m）に左上腕部より接触し負傷した。	26	1 ~ 9
6	14~ 15	解体中、4階フロアにおいて石膏ボード片を詰め込んだフレコンバックを、4階踊り場から3階踊り場に落下させて排出する撤去作業を行っていたところ、足がフレコンバックの持ち手部分に絡まり落下した。	69	10 ~ 29
7	14~15	客先構内において天井クレーンのタラップ手摺取付作業を被災者（作業長）含む4名で行っていた。手摺取付後のグラインダー仕上作業の電源をクレーンからとるよう被災者が指示し、他の作業員もトロリー近接作業でないため了承した。その後グラインダー作業に取りかかろうとした際、被災者が作業予定に無かったストッパー取付用ボルトの締め付け作業を開始した。被災者がトロリー点検用デッキとランウェイゲーターに足をかけた状態（トロリーに近接した状態）でスパナを用いてボルトに接触した際に感電し被災した。	33	10 ~ 29
7	9~ 10	タワーパーキングの解体作業中、解体した鉄骨をクレーンで移動させる作業の補助の際、鉄骨の上に乗っていたところ、自身が乗っていた鉄骨が崩れ落ち、咄嗟に近くの足場に飛び移ろうとしたが間に合わず、10m下の地面に落下し負傷した。なお、常日頃から安全帯の着用を指導していたが、被災労働者は、安全帯は着用していたものの、フックを掛けていなかった。	47	1 ~ 9
7	11~ 12	体育館棟の正面出入口扉の金物ネジが取れたため直せるかどうか見てほしいとの依頼あり、施工管理技士でもある設計課の被災者が、直せるかどうかの下見に当たった。その下見の際、フロアヒンジ上部金物の部分に左手を添えたとき、突然扉が「ガクッ」と動き、その瞬間、左手人差指が挟まれてしまった（一瞬の出来事であった）。	70	30 ~ 49
7	11~ 12	個人宅浴室工事において、浴室を解体作業中に、壁面タイルを電動工具において解体中、解体物であるタイルが壁面から剥がれ落ち、左足を負傷した。	25	1 ~ 9
	10~	午前中に内装解体場所で作業員（B）が天井吊り設備配管（排水鉄管：40φ、約10kg）をセイバーソーで切断しているとき、天井吊り材（既設番線吊り）が外れ、		1

9	11	設備配管が継ぎ手部で折れて落下し、被災者（A：共同作業員）の右足甲に当たり骨折した。	45	～ 9
9	14～ 15	電動斫り（ピック）で門柱を解体中、門柱内の鉄筋を切断した際、門柱が倒れてしまい同時に本人も転倒して負傷したものである。	63	～ 9
9	16～ 17	家の解体中に建物を上に上げて引っ張り、柱がはずれて倒れてきた、柱でケガをした。	59	～ 29
10	9～ 10	アスファルトの上に仮設パイプ小屋造りをしていた。当日朝雨風が強かったので、足場板の上からチェーンを掛けていた。掛け終わってから下りる時、手足を滑らせ落下した。	71	～ 9
10	15～ 16	ブロック塀を切り離し撤去作業中にブロック塀が倒れ、気付くのが遅れ左足を負傷した。	52	～ 29
10	17～ 18	造成工事現場の擁壁底盤の段差（約1m）がある場所で、擁壁立上り打設の準備と確認作業をしていたところ、型枠ジク材を上段にいた作業員に手渡しするために、上段底盤へ登った際、バランスを崩してそのまま後ろ向きに上段から下段へ着地した時、左足踵骨を骨折した。	36	～ 9
10	14～ 15	会社事務所（エンジニアリング部）の外のエアコンプラベースの手直し等をするため、エアコン室外機を移動させる際に約30センチの高さブロック（フェンス基礎）を右足でまたぎ左足で段差約2センチのところ（右足の接地面との段差約30センチあり）で踏ん張った際に、約2センチの段差を踏み外し、捻った状態になり負傷した。	55	～ 29
10	16～ 17	木造瓦家の解体現場にて散水作業中に2階部分の土塀が崩落したことにより被災。しかし本人は崩れ落ちた土塀から少し離れた所に倒れており、被災の瞬間を見た者がいない上に、本人にも土塀の崩落を確認し逃げる体勢を取ったところまでしか記憶がないため、直接の負傷原因は不明である。（土塀に直接あたっているのか、逃	51	～ 9

		げる際に転倒して頭部を強打したのか等が考えられるが詳細はわからない。) 尚、土塀の崩落原因については重機算の振動によるものと思われる。		
10	16～ 17	室内内装解体工事において上向きで作業をしていた際に、右眼に異物が入って負傷した。	47	30 ～ 49
10	10～ 11	解体工事作業中、足場から玄関入口上の箇所の柱（地上約3m位）に足をかけたところ、柱がくさっていたため折れて地上に転落、はずみで鎖骨を骨折した。	47	1 ～ 9
10	13～ 14	ビル解体工事現場に於いて、6階部分の解体途中のスラブ上で、周りの足場（養生シートと単管）を取り外し、エレベータービットの周りに集積させていた足場材（単管）を片付けようとして、足場材を持ち上げた際に足元が不安定だったこともあり、誤ってエレベータービット内に転落した。6階から2階へ転落して負傷。	44	1 ～ 9
12	16～17	自社事業所の改築工事現場で就労していた労働者が、ガレージスレート屋根撤去中、母屋に打ってある釘を抜いていたところ、母屋が腐っていて折れ、スレートと一緒に転落し、右肋骨を骨折した。	65	1 ～ 9
12	17～18	現場作業から会社に戻る途中、倉庫横の側溝で道具等を洗っているときに足を滑らせ、側溝の角で頭を強打した。側溝の水に浸かり、溺死した。	41	1 ～ 9

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_11.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html)